

第3回 阿久根市子ども・子育て会議

- 1 日 時 平成27年3月4日 16:00~17:00
- 2 場 所 阿久根市役所 2階会議室
- 3 阿久根市子ども・子育て委員 (18名)
- 4 事務局及び関係職員等
 - (1) 事務局 (4名) 生きがい対策課長 早瀬, 課長補佐 牛濱, 児童対策係長 猿楽
主査 宇都
 - (2) 委託業者 (1名) 鹿児島みらい研究所 開田
- 5 要約議事録 (委員会意見)

議事1 確保方策について

発言者	意見の概要	計画への反映		
		総論	各論	現状
興水委員	阿久根市は、他市町村と比較すると、保育所等の定員に対して柔軟な対応をとってくれるとのことなので、ありがたい。			
興水委員	ここに記載されている見込み量とは、今後の人口の推移（予測）を踏まえたものなのか。			
事務局	お見込みのとおり、人口推計を基にしている。市では、人口減少が予測され、保育所への入園者数も減少していくと予測されるが、その対応としては、市立保育所が調整弁的な役割を担っていければと考えている。 同時に、本市は、他市町村からの広域利用が年50名程度あるが、その受け入れの継続についても、本市内保育所にひきつづきお願いしていきたいと考えている。ただし、本市の子どもたちが待機児童となってしまうようなことがないように最大限配慮していく。			○
議長	賛成多数により議事を承認します。			

議事2 阿久根市子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について

発言者	意見の概要	計画への反映		
		総論	各論	現状

委員	意見なし			
議長	賛成多数により議事を承認します。			

議事3 阿久根市子ども・子育て支援事業計画（案）の修正内容について

発言者	意見の概要	計画への反映		
		総論	各論	現状
有元委員	養育訪問事業の記載方法について、本事業（補助事業）に乗せて実施しないので、見込み量があるのに、確保策を0とするのは、「やらない」という意味になるのではないか。			
事務局	補助事業での実施はしないので、県からの指導では、この確保は0と表記してほしいとのことだった。そのため、本市では、計画書P47に母子保健事業としての実施を記載しており、そちらで理解していただけたと考えている。			
榎園委員	学校に行くことができない子どもたちへの対応についても、計画書のどこかに記載した方がいいのではないか。			
議長	本計画は、子ども子育て支援法に基づく事業計画となるので、医院の指摘は、計画外のことと考える。そのため、そういった対応は、他の計画、他の事業で適正に実施していくようになっていると考える。			
事務局	学校に行くことができない子どもたちへの対応としては、「要保護児童対策協議会」において、個別検討、個別対応を行っている。			
議長	フリースクールのようなものがあれば、そういった子どもたちの居場所づくりにつながると思うので、他の計画等で検討してほしい。			
興水委員	低体重出生児を追跡した調査によると、生活習慣病のリスクが高いという調査報告があるときいた。鹿児島県内では、鹿児島大学医学部の武井医師が研究を行っているそうなので、そういった最先端の情報を積極的に活用してほしい。			
事務局	母子保健担当等と連携して検討したい。			
榎園委員	障害の害をひながな表記で統一してほしい。		○	
事務局	ご指摘については、修正を行います。			
議長	賛成多数により議事を承認します。			